

団体名	下北沢コンシェルジュ協会
-----	--------------

添付資料 1

## 事業計画書

事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決事業 <input type="checkbox"/> 提案型協働事業（継続団体のみ）	
事業名称	下北沢まち案内とまち歩きツアーの運営	
<b>1 地域貢献、2 費用対効果</b>		
解決を目指す地域課題や社会的課題	下北沢に来訪する人へのまち案内とまち歩きツアーをボランティアが提供し、ボランティア有志による音楽ライブ開催により来訪者が下北沢を楽しむための支援をします。	
実施場所	下北沢駅東口改札前広場内及び下北沢周辺散策	
期待される具体的な区民・地域への波及効果	下北沢駅来訪者へのまち案内とまち歩きツアーによる利便性の向上と、ボランティア活動参加による地域に関心を持つ意識の向上 駅前での合法的な屋外演奏機会を提供することによる、無許可の路上ライブの抑止	
成果目標	まち案内実施日数の増加とまち歩きツアーの再開	
成果目標の測定方法	ボランティア人数、まち案内利用者数、まち歩きツアー参加者数	
事業の対象者・予定人数	ボランティア 20 人、まち案内 2500 人、まち歩き 100 人	
総事業費	1,445,600 円	
補助金目標額 （寄附目標金額）	1,204,000 円    （寄附目標金額：904,000 円）	
寄附金上限設定額	（設定する場合入力） 1,300,000 円	
<b>3 新規性・創造性</b>		
事業概要 （200～250 字程度に）	<p>1. まち案内 世田谷区が令和 6 年まで駅前に設置したコンテナハウスで、まち案内を実施していましたが、その撤去により世田谷区から新たに貸与されたワゴンを使って継続しています。ワゴンだけでは、雨天時にまち案内をすることができず、それが原因でボランティアの確保が困難となっているため、ある程度の雨天時にもできるようにすることで、まち案内の開催日数を増やします。</p> <p>2. まち歩きツアー 令和元年まで実施しており新型コロナウイルス対策をきっかけに休止していた、まち歩きツアーを今年度から再開します。</p>	
<b>4 実現可能性</b>		
事業実施期間	令和 7 年 7 月 15 日    ～    令和 8 年 3 月 31 日	
実施内容 （いつ、だれが、何	※補助金交付決定後、事業開始から終了までスケジュールをご記入ください。	
	実施月	内 容

団体名	下北沢コンシェルジュ協会
-----	--------------

を する の か 等 、 実 施 す る 内 容 を 具 体 的 に ご 記 載 く だ さ い	7月	案内所雨天・防寒対策検討、ツアー内容検討
	8～9月	案内所雨天対策実施、ツアー準備
	10月～	案内所開所日数拡大、ツアー開催
	11月～	案内所防寒対策実施、ツアー開催
トラブルへの対応 (想定されるリスクとその対処方法)	駅前広場の利用制約の発生に備えて、関係各所との日常的な調整を図る	
<b>5 将来性</b>		
今後の展開 * 事業の発展や自立に向けての目標・考え方など	獲得したボランティアが次のボランティアの世話をするような体制を作り、ボランティアの世代交代があっても、継続してまち案内とまち歩きツアーを開催できるようにしたい。収入については、区の工事用地と公道上での活動のため商業団体(企業や商店街など)の直接支援を今後も受けられないため、協賛金の割合を高めることが必要と考えている。そのため協賛団体に魅力のある活動を目指したい。	
<b>8・9 クラウドファンディング</b>		
実施希望時期 (最大3か月)	令和7年9月1日 ～ 令和7年11月30日	
寄附を募るターゲット層	下北沢でのボランティア活動を応援したいと考えている人達	
広報活動計画	SNSでの告知、案内所での掲示、関係各所への対面説明	
寄附目標額を達成しなかった場合の対応	事業規模を縮小して活動する。優先度としては、雨天対策を優先し、ツアー再開は目標人数を下げるなどして対応する。	
寄附目標額を超えた場合の対応	事業規模の拡大に努める。特に、6年前の団体発足当時は、まち案内を二人体制で1組2時間半の3交代制で終日運用していたが予算縮小により、現在は一人体制で1日1回2時間半のみにしておりトイレなど離席時には閉所している。予算が十分になれば、二人体制又は1日複数回の交代制に戻したいと考えている。	
<b>その他</b>		
その他 * 提案する事業と団体の特徴、専門性、実績、提案、事業実施に向けたアピールなど	当団体は、本提案事業に係る活動を専業として、資金面での後援団体を持たずに、管理・運営を含むすべてをボランティアで実施している。平成30年の設立から活動の規模を増やして、令和5年の年間まち案内利用者数は7,653人となった。しかし、設備の変更により雨天時中止としたことから、まち案内ボランティアが離れてしまい開所日数が軽減し、令和6年の利用者数が5,505人に減少したため、本提案事業により、その回復と、休止している、まち歩きツアーの再開を志したい。	

団体名	下北沢コンシェルジュ協会
-----	--------------

事業収支予算書

☆今回提案する事業に要する予算のみ(×団体の年間予算)を入力してください。

【収入】

費目	内容	金額(円)	内訳(積算根拠)
自己資金	会費及びツアー参加費等	546,000	会費3000円×10人 協賛金3000円×2件 ツアー参加費5000円×20人×5ヵ月 等
区補助金	せたがやクラファン	1,204,000	
他補助金		0	
【収入】合計		1,750,000	※事業計画書「総事業費」、【支出】合計と同額

【支出】

☆日常の運営経費(日常運営に要する人件費・消耗品費、事務所賃借料、光熱水費等)は補助対象外です。  
必ず、募集要領5. 補助対象経費をご確認の上、ご作成ください。

費目	内容	金額(円)	積算根拠(品目・単価・数量等)
人件費	謝礼費	270,000	1000円×360人日×9/12(7月～3月)
	[小計]	270,000	
報償費			
	[小計]	0	
交通費	移動費	2,000	備品購入の運搬に係る交通費
	[小計]	2,000	
需用費	消耗品費	20,000	まち案内及びツアー用筆記具などの事務用品 まち案内用地図の印刷用 プリントカートリッジ5000円×9個 東京観光案内事業貸与備品(タブレット端末)の買い替え(雨天対応) 端末代50000円
	印刷費	45,000	
	事務機器費	50,000	

費目	内容	金額(円)	積算根拠(品目・単価・数量等)	
補助対象経費	備品費	110,000	備品費と設備費で、ボランティア人数増員と夏期冬期の開所継続のための設備及びツアー実施時の機材を整備する <b>【ワゴン屋外対策】</b> >雨天用ワゴン設備 5万円 >保管場所設備 5万円(DIY予定の材料費) >夏期備品 2万円(送風機器) >冬期備品 2万円(暖房機器) <b>【音楽ライブ屋外対策】</b> >屋外音響備品 3万円 >屋外照明備品 2万円 <b>【ツアー再開準備】</b> >スピーカー付マイク備品 9千円×2台	
	設備費	80,000		
	[小計]	305,000		
	役務費	街歩きツアー運営費	400,000	4000円×100人
		振込手数料,印紙,郵送費	2,000	
		[小計]	402,000	
	委託料	業務委託費	162,000	ライブ設営・運営・撤去作業費 日当9千円×2人×9回
		[小計]	162,000	
	使用料・賃借料	通信費	45,000	5000円×9カ月(7月～3月)
		[小計]	45,000	
その他				
	[小計]	0		
<b>[補助対象経費 計]</b>		1,186,000	※事業計画書「補助金要望額」と同額	
費目	内容	金額(円)	内訳(積算根拠)	
補助対象外経費	懇親会費	30,000	提案事業に係る経費ではない	
	廃棄費	100,000	提案事業に係る経費ではない	
	通信費	15,000	4月～6月分	
	謝礼費	90,000	4月～6月分	
	音楽使用費	6,600	年額のため対象から除外	
	[補助対象外経費 計]	241,600		

費目	内容	金額(円)	積算根拠(品目・単価・数量等)
【支出】合計		1,427,600	※事業計画書「総事業費」、【収入】「合計」と同額

☆必要に応じて、行を増やしてご作成ください。

団体名	下北沢コンシェルジュ協会
-----	--------------

添付資料3 7実施体制

## 団 体 の 概 要

設立年月日 (活動開始)	2018年 6月 4日			
法人番号 (該当団体のみ)				
団体の設立目的	下北沢（世田谷区北沢、代沢、代田、大原、羽根木を含む地域）の案内及び情報提供をすることを通じて、下北沢に訪れる人々に役立つことを目的として活動しています。			
主な活動分野	ボランティアによる下北沢駅前でのまち案内 まち案内ボランティアによる音楽ライブ 下北沢に関連するまち歩きツアーの運営			
社員数・会員数 (うち世田谷区 在住)	10人（うち世田谷区在住 9人）			
会費	有（年額 3000円）			
主な活動地域	下北沢（世田谷区北沢、代沢、代田、大原、羽根木を含む地域）			
主な活動実績	令和4年まち案内利用者数：4,047人 令和5年まち案内利用者数：7,653人 令和6年まち案内利用者数：5,505人			
運営状況（直 近3年間）		令和6年度	5年度	4年度
	総収入	598,177円	887,011円	1,149,006円
	総支出	682,828円	849,315円	874,160円
	損益	-84,651円	37,696円	274,846円
過去のクラウドファンディング活用実績	無			
当年度の活動 予定	1. まち案内の継続における規模拡大 1. 1 雨天時の案内所開所によるボランティアの獲得 1. 2 まち案内後の音楽ライブ開催によるボランティアの獲得 2. まち歩きツアーの再開			
事業実現のための体制（人材、連携・協働関係等）	管理体制は従来どおり2名（まち案内担当及びまち歩きツアー担当）まち案内所（ワゴン）については、世田谷区北沢総合支所からの許可を得て駅前広場内に設置します。まち歩きツアーは、ツアー内容により下北沢の関係団体と協力又は協働します。			

事業名: 下北沢まち案内とまち歩きツアーの運営

団体名: 下北沢コンシェルジュ協会

No.1

質問	「まち案内」については「実施日数の増加」「開催日数を増やします」とありますが、事業収支予算書によれば、概ね無休での実施を目指しているのでしょうか。
回答	はい。目標としては無休をめざしています。ただし、ボランティア活動は1回2時間半で、1日に3つの時間帯を設けており、荒天時を除く毎日最低2時間半の開所を当面は目指しています。将来的には、1日に複数の時間帯の開所も目指したいと思っています。

No.2

質問	「まち歩きツアー」の詳細について教えてください。
回答	過去の実績としては、茶摘み体験ツアーと劇場バックステージツアーを開催しておりますが、どちらも外部団体との連携で行なったものなので、今回の事業採択された場合には、それらの他に新しい外部団体も含めて、改めて立案します。

No.3

質問	音楽ライブの開催においては、現在無許可路上ライブを行う方を何らかの形で音楽ライブに巻き込むなど、活かす形にするのでしょうか。
回答	いいえ。今年度中については、直接そのようなことを考えていません。路上ライブが禁止であることの啓発は引き続きしますが、無許可の路上ライブを既にしてしまっている方を、積極的に当事業に巻き込むことはしません。まち案内のボランティア活動に興味を持ち継続して参加する中で、その人達にライブ演奏の機会を提供しますが、屋外でライブすることを目的としてボランティア活動を義務として参加するという動機付けを与えることは考えていません。

No.4

質問	どのようにボランティアを募集し獲得しようとしているのでしょうか。また、まち案内やまち歩きツアーのボランティア実施に際しては、各々どのような研修などを行うのでしょうか。
回答	<p>【まち案内ボランティアの募集について】</p> <p>ボランティア募集は、インターネット上のボランティア募集のポータルサイトでの掲載をしています。現在は無料サービスでの申し込み人数制限(1カ月2名まで)の範囲ですが、今回の事業に採択され獲得金額に余裕が出れば、人数制限が5名の有料プラン(月額1595円)の加入を検討します。また、本年5月から、都立高校のボランティア活動に係る学修の単位認定を受ける高校生の研修を始めました。現在は、このための運用方法を検証中ですが、今年度中に単位認定ができるようになれば、来年度以降の継続的な参加を見込めるものと考えています。ただし、このためには、現状の雨天時に中止する運用では困難なこともあり、雨天時にも運用できるように改善することが急務となっています。</p> <p>【まち案内の研修について】</p> <p>まち案内の研修は、説明・見学・練習で構成しています。説明(所用時間1時間)では、用意している地図の紹介と実際にまちを歩いて地図の内容を確認してもらいます。見学(所用時間1時間)では、他のボランティアが実際にまち案内でどのような対応をするのかを見学してもらいます。練習(所用時間2時間半)では、既にまち案内をしているボランティア立会いのもとで、実際のまち案内を練習してもらいます。これらを経て、ボランティアに参加するかを本人に判断してもらい、継続の意思があれば、練習を継続します。本人がひとりでまち案内できると判断した後はひとりでまち案内をしていただきます。そのため、まち案内をひとりでするようになるまでは、最短で4時間半の研修を行っています。</p> <p>【まち歩きツアーの募集及び研修について】</p> <p>まち歩きツアーは、当協会員がツアー参加者を引率することを想定しており、募集及び研修を現時点では想定していません。</p>

事業名: 下北沢まち案内とまち歩きツアーの運営

団体名: 下北沢コンシェルジュ協会

No.5

質問	法人格を有していない団体であり、又、「管理・運営含むすべてをボランティアで実施している」ことも踏まえ、組織体制面の充実、トラブル対応などの危機管理体制などはどのようにお考えでしょうか。
回答	<p>【組織体制について】 組織体制としては、まち案内とまち歩きツアーに大きく分かれるのですが、まち案内についての窓口ボランティアは、これまで約200人の参加がありましたが、運営ボランティアは団体発足メンバー以後の追加ができておらず課題のままとなり引き続き解決策を検討しています。まち歩きツアーについては、これまでも企画・立案などの段階で他団体との交流も含めた協力者が形成されてきたので、今年度の再開にあたっては同様に運営できることを想定しています。</p> <p>【危機管理体制について】 危機管理体制については、トラブル対応については、当協会の運営ボランティアが内容によって商店街の協力で対処しています。損害賠償や労務事故時の金銭面では、以前に対人・対物の事故保険加入などをしておりましたので、今回の事業に採択され獲得金額に余裕が出れば、保険加入を選択肢として検討する予定です。</p>

No.6

質問	今後数年の活動を見据えて、下北沢の商店街との連携やまちづくりにつながる活動にしていくことは難しいのでしょうか。
回答	<p>いいえ。その方向で検討しています。</p> <p>【まち案内について】 商店街には、案内所で使用する電子機器について電灯供給をしていただいております。他のイベント開催時の案内所設置場所の確保について配慮していただいております。下北沢には、本年度「下北沢エリアマネジメント協議会」が発足され、その中の活動項目案のひとつとして「まち案内」が出されており、発足イベントでは、世田谷区長から「まち案内」が取り上げられました。現時点で協議会とは具体的な連携をしていますが、来年度以後については、協議会との連携も検討する予定です。</p> <p>【まち歩きツアーについて】 当協会発足時に比べて、まち歩きを有料サービスとして提供する団体・企業が増えてきており、下北沢エリアについてもみられるようになりました。3年後以後については、当協会のように無償ボランティアによるまち歩きツアーについては、継続の有無を含めて検討する予定です。</p>

No.7

質問	「まち案内」における、雨天対策についての詳細をお教えてください。
回答	<p>ある程度の雨天時にも、まち案内を継続するための設備購入になります。</p> <p>これから詳細を検討しますが、①雨天時に運搬ができないワゴンの代わりとなる折り畳み机や、②電灯線設営ができない場合のポータブル電源、③屋外(区の事業用地の一部)にあるまち案内用具の保管場所で雨天時に荷物の出し入れをできるようにする防雨設備などの購入を想定しています。</p>



事業名: 下北沢まち案内とまち歩きツアーの運営

団体名: 下北沢コンシェルジュ協会

事務局

質問	事業収支予算書の経費の詳細をお教えてください。 ・人件費(謝礼費)は何のために誰に支払うものでしょうか。 その内容は、実施要領6ページに記載している対象内になっておりますでしょうか。 ・使用料・賃借料(通信費)の詳細をお教えてください。 団体経常経費ならば対象外となります。
回答	いずれも、対象となる経費であると、以下のとおり考えています。 【人件費について】 人件費は、まち案内ボランティアへの交通費補助のみを支払います。 以前の「世田谷区提案型協働事業」では交通費として被支給者からの領収書で支給していましたが、4月18日に開催された「令和7年度せたがやクラファン！チャレンジ」説明会で確認したところ、交通費精算について個人からの領収書を一切認めないとの説明でしたので、人件費として支給することを想定しています。 【通信費について】 通信費は、駅前に設置するワゴンからインターネット接続するためのモバイル通信費のみを支払います。
事務局 回答 (6月19日)	【人件費について】の内容についてですが、4月の事前説明会では、「交通費精算について個人からの領収書を一切認めないとの説明」はしておりません。事務局からお答えした内容としては、以下の通りとなりますので、改めてご確認の程よろしくお願いたします。  (回答) 報償費として個人に支出する場合は、氏名・住所等が記載された、支出を証明できる書類(領収書等)が必要になります。  なお、仮に人件費として支出する場合も同様に、支払いを証明できる書類(領収書等)の徴収は必要になりますこと、ご承知おき願います。募集要領(6ページ)「5補助対象経費」に従い、ご対応願います。